

社会福祉法人 開花 SDGs宣言書



当法人は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年8月1日

社会福祉法人 開花
理事長 砂田 正英

◆経営方針

私たちは、福祉の未来の姿を創造し続けます

◆目指す姿

- I. 私たちは、この地域への『安心と価値』を提供します
- II. 私たちは、人の『尊厳』を最優先に考え行動します
- III. 私たちは、常に『信頼』をモットーに創意工夫に努めます

SDGsの達成に向けた取り組み

地域活性化・産業振興

持続可能な地域づくりのため、地域の福祉インフラの拡充や社会的・経済的な活性化の取り組みを行います。

<具体的な取り組み>

地域問題の解決に資するサービスの開発／行政の産業振興事業への参画／地域の特産品・自然等の特色を生かしたイベント企画

— 関連ゴール —



ゴミ・廃棄物削減

未来の地球環境を守るため、職場で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。

<具体的な取り組み>

廃棄物排出量の削減、リユース・リサイクルの推進／ペットボトル・空き缶の分別回収やリサイクル活動／ペーパーレス化の推進／廃棄物の管理体制の強化（廃棄物処理法の順守、廃棄物責任者の選定等）

— 関連ゴール —



ワークライフバランス

職員の豊かなライフスタイル実現のため、育児や介護と仕事を両立しやすい環境を目指します。

<具体的な取り組み>

産前・産後休業・育児休業制度の整備／介護休暇・介護復職支援制度の整備／各種休暇を取得しやすい風土づくり／柔軟な勤務体制、リフレッシュ休暇の導入

— 関連ゴール —



多様な人材活用

性別、障害、国籍、宗教などによる差別の禁止を目的に、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。

<具体的な取り組み>

職場の規程・方針の見直し（性別や障がい、国籍による給与、労働時間、待遇に関する差別の撤廃等）／採用条件等の見直し／不適切な採用選考の撤廃／職場教育を通じた周知

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

